

## 東海4県の「社長年齢」分析調査（2023年）

# 社長の平均年齢は60.0歳、高齢化止まらず

## ～「三重県」は全国で最も低い59.4歳、「愛知県」も3番目に低く～

「団塊の世代」の多くが後期高齢者に達し、事業承継の課題が一層深刻になるといわれている「2025年問題」まで、残すところ1年を切った。

帝国データバンクが実施した調査では、2023年における全国の後継者不在率は改善傾向が続き過去最低の53.9%となった。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化には歯止めがかからない状態が続いており、バトンタッチが間に合わず事業継続に影響を及ぼすケースが増加する可能性がある。そこで帝国データバンク名古屋支店では、東海4県企業の「社長年齢」について調査・分析を行った。



## 調査結果（要旨）

- 2023年時点の東海4県の社長の平均年齢は60.0歳。前年を0.2歳上回り、過去最高を更新。社長が交代した割合は3.65%、前年からほぼ横ばいで14年連続の3%台
- 「50歳以上」の社長は81.2%、「40歳未満」の若手経営者は3.0%にとどまる
- 都道府県別、トップは秋田県の62.5歳、最も低いのは三重県の59.4歳

■ 本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」（約147万社収録）から2023年12月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した

## 止まらぬ社長の高齢化、60.0歳と過去最高 社長交代率も低水準

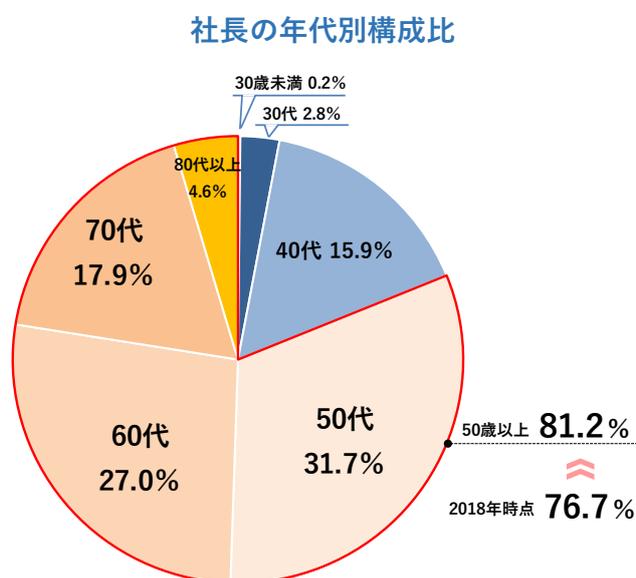
東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）の社長平均年齢は、統計として遡れる1990年から毎年上昇し続けている。今回の調査でも同様の傾向となり、2023年は前年比0.2歳上昇の60.0歳（全国は60.5歳）となった。県別では、愛知59.6歳、岐阜59.7歳、三重59.4歳、静岡61.1歳。加えて、2023年における前年からの社長交代率は3.65%（同3.80%）となった。14年連続で3%台が続いており、前回調査（3.72%）から微減となった。県別では愛知3.81%、岐阜3.67%、三重3.42%、静岡3.45%。総じて、社長の世代交代に関して以前より活発な様子は見られず、社長の高齢化はさらに進行しているといえよう。

社長が交代する際の年齢は平均で68.8歳となり、前回調査（69.2歳）からは0.4歳低くなった。高齢ながら社長として経営を続けることにはリスクがともなうなかで、70歳近くで後継者にバトンタッチをしている結果となった。そして、社長交代後に就任する新社長の平均年齢は51.4歳となり、17.4歳の若返りがみられた。

## <年代別構成比> 「50歳以上」の社長は81.2%と高水準、若手経営者はわずかにとどまる

2023年時点における東海4県の社長の年代別構成比をみると、「50歳以上」が81.2%となり全体の8割以上を占める結果となった。「50歳以上」の割合は毎年上昇しており、2022年に初めて8割を超え、今回の調査でもさらに上昇した。

近年はスタートアップなど新興企業を中心に若手経営者に注目が集まっているものの、「40歳未満」は3.0%、なかでも「30歳未満」はわずか0.2%に過ぎず、若手社長の割合は依然として低い水準にとどまっている。



## <業種別> 「不動産」が63.0歳と高水準

社長平均年齢を業種別でみると、「不動産」が63.0歳で最も高かった。また、「製造」「卸売」（各60.6歳）、「小売」（60.1歳）も全体を上回った。他方、若手起業家が多い“IT企業”や個人向け業種が分類される「サービス」は58.9歳で最も低かった。

## 業種別 社長平均年齢・年代別構成比

業種	(歳)								(%)
	平均年齢	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
建設	59.1	0.1	2.6	17.2	34.0	26.0	16.6	3.5	100.0
製造	60.6	0.1	2.3	14.3	31.3	28.6	18.6	4.9	100.0
卸売	60.6	0.1	2.3	14.8	30.9	27.8	18.9	5.2	100.0
小売	60.1	0.3	3.4	16.2	29.7	26.8	18.4	5.3	100.0
運輸・通信	59.7	0.2	2.2	13.9	36.5	27.9	15.5	3.8	100.0
サービス	58.9	0.3	4.0	17.6	31.3	26.3	16.7	3.8	100.0
不動産	63.0	0.1	2.3	13.1	25.0	26.5	23.4	9.6	100.0
その他	59.1	0.4	3.9	16.7	30.9	27.7	16.7	3.8	100.0
全体	60.0	0.2	2.8	15.9	31.7	27.0	17.9	4.6	100.0

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも100とはならない、網掛けは全体平均を上回る数値

### <都道府県別> 都道府県別では「東高西低」、秋田県が6年連続トップ

社長平均年齢を都道府県別で見ると、秋田県が62.5歳（2022年比+0.1歳）で最も高かった。1990年から8.7歳上昇しており、6年連続のトップとなった。また、次いで岩手県（62.4歳、同+0.1歳）、高知県（62.3歳、同+0.2歳）が続いた。なかでも、東北地方は6県すべてで全体平均（60.5歳）を上回った。また、前年からの上昇幅としては和歌山県（61.3歳、同+0.4歳）が最も高かった。

他方、平均年齢が最も低かったのは三重県で、59.4歳。三重県は2023年時点の後継者不在率が30.2%\*と全国で最も低い点も含め、円滑な事業承継の結果が表れているといえよう。一方で、前年から0.3歳上昇しており60歳超えも視野に入ってきた。愛知県は59.6歳で44位、岐阜県は59.7歳で42位、静岡県は61.1歳で16位。

なお、47都道府県のなかで社長平均年齢が前年から低下した地域はみられず、鳥取県（61.0歳）、香川県（60.3歳）、佐賀県（60.5歳）、大分県（60.4歳）の4県のみ同横ばいだった。

### 今後の見通し：社長の「高齢リスク」噴出が懸念

東海4県の社長の平均年齢は上昇傾向が続き、過去最高を更新した。2023年の社長交代では17.4歳の若返りがみられたものの、交代率は3.65%と低位にとどまっている。このまま社長交代率が改善しなければ、さらに社長平均年齢は上昇しそうだ。

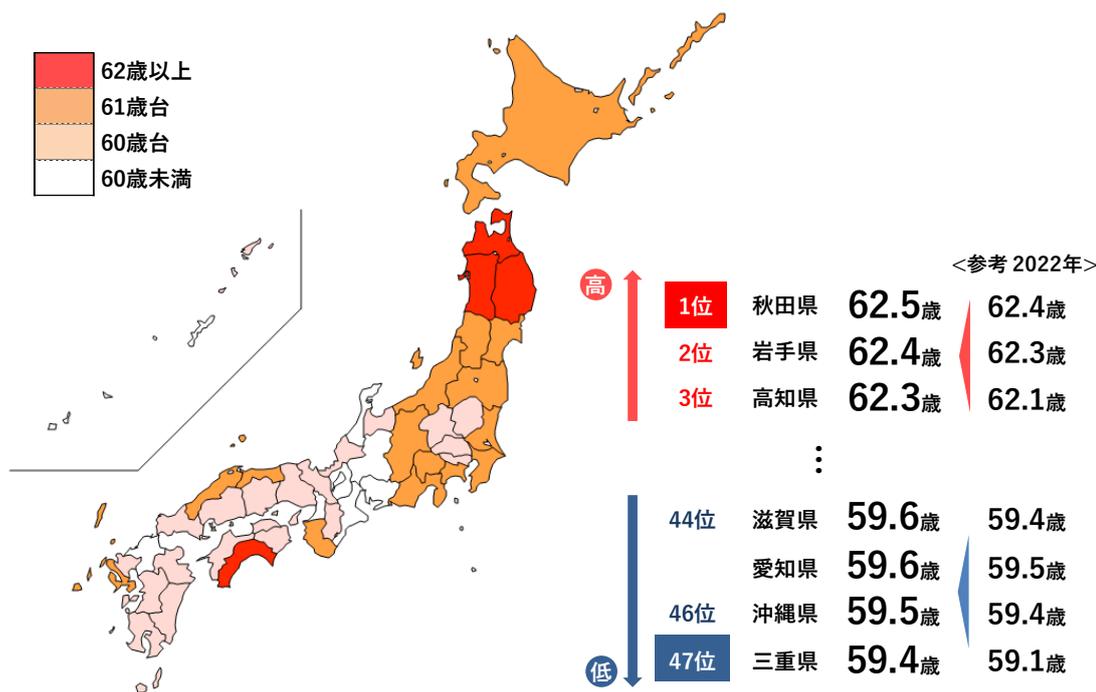
こうした結果を踏まえ、社長の「高齢リスク」にはさらなる警戒が必要だ。

今後も社長の高齢化が進めば、後継者難倒産など不測の事態が生じる可能性は自ずと高まる。円滑な事業承継を確実に進めていくためには、計画的かつ余裕のある準備が必要となろう。

\* 帝国データバンク『全国「後継者不在率」動向調査(2023年)』2023年11月21日発表

## 【参考】都道府県別 社長平均年齢

	2022年	2023年	23年順位		2022年	2023年	23年順位		2022年	2023年	23年順位
北海道	61.2	61.4	7	新潟県	61.4	61.5	6	岡山県	59.9	60.0	38
青森県	62.1	62.2	4	富山県	60.6	60.7	24	広島県	60.5	60.6	25
岩手県	62.3	62.4	2	石川県	59.6	59.8	40	山口県	60.4	60.6	25
宮城県	60.9	61.1	16	福井県	60.4	60.5	30	徳島県	60.5	60.6	25
秋田県	62.4	62.5	1	岐阜県	59.6	59.7	42	香川県	60.3	60.3	35
山形県	61.2	61.3	10	静岡県	60.9	61.1	16	愛媛県	60.4	60.6	25
福島県	61.1	61.3	10	愛知県	59.5	59.6	44	高知県	62.1	62.3	3
茨城県	61.2	61.3	10	三重県	59.1	59.4	47	福岡県	59.7	59.8	40
栃木県	60.8	60.9	20	滋賀県	59.4	59.6	44	佐賀県	60.5	60.5	30
群馬県	60.7	60.8	22	京都府	60.4	60.5	30	長崎県	61.3	61.4	7
埼玉県	60.7	60.8	22	大阪府	59.6	59.7	42	熊本県	60.1	60.2	36
千葉県	60.9	61.0	18	兵庫県	60.2	60.4	33	大分県	60.4	60.4	33
東京都	59.8	60.0	38	奈良県	60.4	60.6	25	宮崎県	60.1	60.2	36
神奈川県	61.1	61.2	15	和歌山県	60.9	61.3	10	鹿児島県	60.8	60.9	20
山梨県	61.2	61.3	10	鳥取県	61.0	61.0	18	沖縄県	59.4	59.5	46
長野県	61.2	61.4	7	島根県	61.6	61.8	5				



### 【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 名古屋支店情報部 担当:丸山、稲熊

TEL 052-561-4846 FAX 052-561-5746

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。